

10月の祭典行事について

熱田神宮宮庁総務課 名古屋市熱田区神宮1-1-1
Tel 052(671)4153 Fax 052(681)0538 URL <http://www.atsutajingu.or.jp>

大高町あげてのお祭り

氷上姉子神社例祭

10月1日(日)
午後2:00

氷上姉子神社(境外摂社) 祭典・神事

摂社氷上姉子神社は熱田神宮の元宮で、仲哀天皇4年の御創建と伝えられ、日本武尊の御妃である宮簀媛命(みやすひめのみこと)をお祀りしています。当日は大高の里に古くから伝わる猩々(しょうじょう)をはじめ、傘鉾や松車という珍しい山車が20台近く揃い、境内は多数の参拝者で賑いを呈します。



○例祭に併せて 尾州久田流 下村瑞晃氏の御奉仕にて、午前9時30分より献茶式が執り行われ、社務所では正午まで拝服席が設けられます。

秋の稔を感謝して

新嘗(にいなめ)祭 並 神嘗(かんなめ)奉祝祭

10月17日(火)
午前10:00

本宮・別宮・摂末社 祭典・神事

このお祭りは新穀を神々に捧げ収穫を感謝し、併せて伊勢の神宮で斎行される神嘗祭を奉祝するもので、本宮・別宮をはじめ摂末社43社で行われます。当日は熱田神宮の附属団体豊年講の講員より、約2tもの新穀が庭積神饌として供えられ、農業関係者多数が祭典に参列します。



珍しい韓神舞と烏喰の儀

御田神社 新嘗(にいなめ)祭

10月17日(火)
午後2:00

御田神社 祭典・神事

このお祭りでは、榊の枝を両手に持った神職が独特の所作をする「韓神舞(からかみのまい)」が舞われます。また、祭典の前には、「ホーホー」と唱えながらお供物を土用殿の屋根に投げ、鳥にお供物を食べさせる所作をする「烏喰(おとぐい)の儀」が行われます。古くは鳥が飛んできてお供物を食べなければ、祭典が始まらなかったと伝えられています。

○御田神社は、五穀豊穡の神である大年神(おとしのかみ)をおまつりしています。



商売繁盛を祈って

熱田恵比須講社大祭

10月20日(金)
午前10:00

上知我麻神社 祭典・神事

摂社上知我麻神社・末社大国主社・事代主社を崇敬する人々で組織された、熱田恵比須講社の大祭を執り行います。当日は講員約500名が参列し、祭典終了後には恒例の福引大会が予定されています。



献茶式

熱田神宮献茶会 秋季大会献茶式

10月15日(日)
午前10:30

神楽殿 行事

本年は、武者小路千家 家元千宗守氏のご奉仕し、御神慮を和め奉るとともに斯道の繁栄を祈願します。また、境内茶席では、濃茶を武者小路千家、薄茶を吉田生風庵の奉仕により、協賛席として釜が掛けられます(9:00~15:00)。

○熱田神宮献茶会は、茶道を通じての神徳宣揚を目的として、昭和22年に茶道各流派により結成された会です。



献花式

熱田神宮よもぎ花道会 秋季献花式

10月15日(日)
午後2:00

神楽殿 行事

花道愛好家等約200名が参列する中、御神前で花を生けてお供えし、御神慮を和め奉ると共に斯道の繁栄を祈願します。本年は、宝山流 柴田昭和氏の御奉仕です。

○熱田神宮よもぎ花道会は、花道を通じての神徳宣揚を目的として、昭和24年に花道各流派により結成された会です。



古より受け継がれし伝統儀式

弓馬術演武奉納

10月22日(日)
午前10:30～午前11:30
神楽殿前 行事

弓馬術礼法小笠原教場31世宗家清忠氏他門人の皆さんが「墓目之儀(ひきめのぎ)・百々手式」を奉納します。小笠原流は古く応保2年(1162年)初代長清より始まり、鎌倉幕府将軍家の糾方(きゅうほう)師範として、流鏝馬をはじめ大的式・百々手式・草鹿(くさじし)式などを考証し、新しい武家儀式を制定されました。

○小笠原流の皆さんは、全国神社において種々の武家儀式を奉納しています。
(小笠原流ホームページ : <http://www.ogawara-ryu.gr.jp>)



熱田の宮 ～秋の集い～

—文化と伝説の森を訪ねて—

10月24日(火)
午前10:00～午後1:00
会館・文化殿・宝物館等 行事

市内の高齢者を対象として、秋の一日をゆったりと境内で楽しんでいただく集いを開催いたします。当日は御垣内参拝・舞楽・呈茶・二胡の演奏などを行います。



秋季企画展

「熱田神宮の特殊神事～連綿と伝わる宮廷儀式～」

9月29日(金)～10月24日(火)
午前9:00～午後4:30
宝物館 宝物展示

当神宮では、皇室の繁栄、五穀豊穰や国民の平穏を祈念する恒例祭典・神事が、年間70余度齋行されています。神社にとって特別の由緒をもち、神社固有の神事・祭祀を、現在では「特殊神事」と称しています。本展では、当神宮の特殊神事を中心に、その神事を表した絵画や文献資料、また実際に神事の執物として使用された宝物約100点を展示し、当神宮の特殊神事を紹介します。

○入館料 ・大人500円(300円)、小中学生200円(100円)
()内は20名以上の団体料金
・入館は午後4時10分まで

